

# C型肝炎治療の現状

- ◆ C型肝炎の治療
- ◆ 検診・治療連携の現状

# C型肝炎の治療①

## 1. 抗ウイルス療法

→各種インターフェロンや、インターフェロンとリバビリンの併用等。  
C型肝炎ウイルスの駆除を図る。

## 2. 肝庇護(抗炎症)療法

→グリチルリチン製剤やウルソデオキシコール酸等の投与。  
肝の線維化進展の阻止・遅延を図る。

## 3. 画像診断(超音波診断、CT等)と腫瘍マーカー ( $\alpha$ -FP、PIVKA-II等)を用いた肝がんの早期 発見と早期治療

→延命を図る。

平成17年度は、厚生労働科学研究において、治療に関して以下の研究が行われた。  
「B型及びC型肝炎ウイルスの感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究(主任研究者:熊田博光)」  
「C型肝炎の診療ガイドライン策定について(主任研究者:小俣政男)」  
「C型肝炎治療の中断防止ガイドラインについて(主任研究者:林紀夫)」

# C型肝炎の治療②

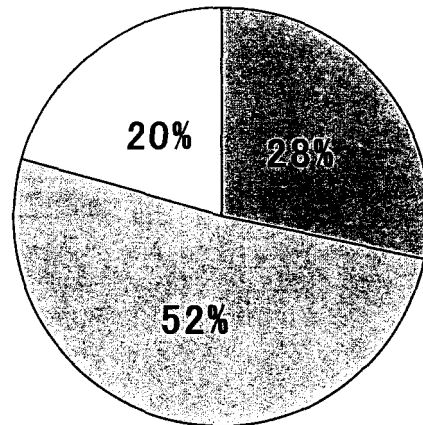
治療中断による著効率(SVR:sustained viral response)の変化

用量変更なし 48%

減量または休薬 46-53%

治療中止 19%

## PegIFN/リバビリン併用療法の経過



■ 用量変更なし  
□ 減量または休薬  
□ 投与中止

減量・中断の主な理由

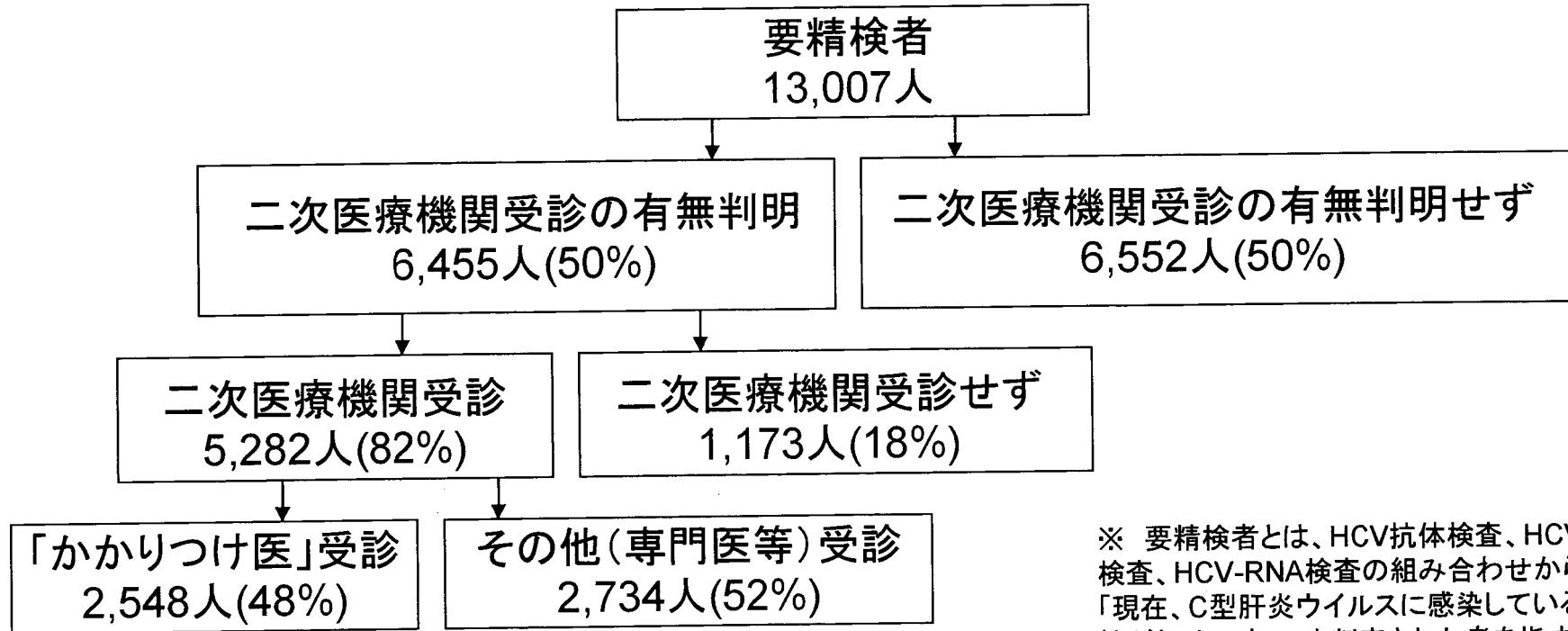
- ・投与前Hb<14g/dl
- ・好中球<2000/mm<sup>3</sup>
- ・血小板<12万/mm<sup>2</sup>
- ・年齢>65歳
- ・女性

厚生労働科学研究費補助金特別研究

「C型肝炎治療の中断防止ガイドラインについて(主任研究者:林紀夫)」より

# 検診・治療連携の現状

- C型肝炎ウイルス検診要精検者※の二次医療機関受診状況  
全国調査結果(44都道府県、4政令市から回答)



※ 要精検者とは、HCV抗体検査、HCV抗原検査、HCV-RNA検査の組み合わせから、「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者を指す。

厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服緊急対策研究  
「B型及びC型肝炎ウイルスの感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究(主任研究者:熊田博光)」より